

ひまわり



令和4年6月13日(月)

品性（ひんせい）を高める



昨年と一昨年の修学旅行は、2度の延期を余儀なくされました。今年は新型コロナウイルス感染者数の高止まりが懸念されるものの、明日から3日間、3年生が楽しみにしていた修学旅行が実施できます。予定どおり実施できることに感謝し、74期生の絆と、修学旅行でしかできない学びを深めましょう。

さて、先日、教職員を対象とした道徳の研修会を実施しました。道徳の授業をより充実させるための研修会でした。道徳の学習では、22項目について学習することになっています。また、それを大きく分類すると、①「自分自身に関すること」②「人との関わりに関すること」③「集団や社会との関わりに関すること」④「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の4つの視点に分けられます。

本日は、4つの視点からそれぞれひとつずつ、日々の生活で意識して行動してほしいことを伝えます。

①「自分自身に関すること」では、「善悪の判断、自律」ということを意識して行動しましょう。自分がしようとする行いが、正しいのか、誤っているのかをたえず考えましょう。

②「人との関わりに関すること」では、「親切、思いやり」を意識して行動しましょう。人から、親切にされるとうれしいですね。だから、自分も人に思いやりをもって親切に接しましょう。

③「集団や社会との関わりに関すること」では、「規則の尊重」を意識して行動しましょう。ルールや法律を守らない人が増えると、社会は無秩序になり、私たちの生活は脅かされ、安心した日常を過ごせなくなってしまいます。

④「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」では、「生命の尊さ」を意識して行動しましょう。この世の生きとし生けるもの全てに「命」が宿っています。全ての命と自分の命を大切にする心を持ちましょう。

日々、このようなことを意識して行動することの積み重ねが、皆さんの道徳性を高め、人としての品性を高めて行くことにつながるのです。

品性：個人がそなえている（道徳的価値として見た）性格。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

